

平成30年度第1回野田市文化財保護審議会

日 時 平成30年8月29日(水)

午前10時00分から

場 所 野田市役所7階 706会議室

《次 第》

1 開 会

2 委員長挨拶

3 部長挨拶

4 議 題

(1) 平成30年度事業の進捗状況について

(2) 鈴木貫太郎翁没後70周年記念事業について

(3) その他

5 閉 会

平成30年度事業計画

種別	実施時期	内容	備考
記念物	申請・届出等(進達)	通年	コウノトリ
有形文化財 (建造物)	指定・登録等	4月～11月	近代和風建築(住宅・社屋)
	調査・記録作成	通年	近代和風建築(社屋その他)
民俗文化財	イベント	12月2日	民俗芸能のつどい
	後継者育成事業	12月	小学生を対象とした後継者育成育成事業
	調査・記録作成事業	通年	災害関連文化財
埋蔵文化財	協議	随時	
	確認・本調査	随時	
	本調査	随時	
	整理作業	9～3月	寺後遺跡
		1～3月	H29調査市内遺跡
	刊行物	3月予定	平成29年度野田市内遺跡発掘調査報告
		3月予定	野田市内遺跡発掘調査報告
教育普及・活用	文化財出前授業	4月～7月	郷土史の授業・昔体験
	刊行物	3月	のだ文化財だより
	実習受け入れ	11月	キャリア教育実践プロジェクト(職場体験)
	講師派遣	随時	郷土史講座ほか
鈴木貫太郎記念館	常設展示	通年	鈴木貫太郎翁の生涯に関する展示
	顕彰事業	8～11月	企画展示
旧花野井家住宅	常設展示	通年	重要文化財建造物・民具の展示
その他	施設管理	随時	除草、清掃
		7～10月	埋蔵文化財整理室移転
	助成等	3月予定	指定文化財維持保存奨励金
			無形民俗文化財維持保存奨励金
			地域史編纂事業補助金

資料 埋蔵文化財 平成30年4月1日～8月3日現在

() 内は前年度同時期件数

1. 協議件数 48件 (45件)

2. 発掘調査件数 確認調査 7件 (6件)
本調査 0件 (0件)

教育委員会発掘調査一覧

遺 跡 名	所 在 地	調 査	調査原因	調査面積 (㎡)	期 間	時 代
中野台貝塚 (第5次)	中野台字行人谷津 912-33	確認	宅地造成	178.50	4月18日～ 4月27日	縄文
七光台消防会館前 (第2次)	七光台 334-1	確認	戸建分譲	25.50	5月10日	縄文
中根八幡前 (第6次)	中根新田字八幡 145-4の一部	確認	個人住宅	32.25	5月18日	縄文・古墳
山崎貝塚周辺 (第20次)	山崎貝塚町 18-9	確認	個人住宅	18.00	5月24日	縄文
東新田	山崎字東新田 2382-4	確認	集合住宅	42.80	6月18日	縄文
山崎宿里 (第19次)	山崎字下里 1110-2 他	確認	分譲住宅	360.00	6月29日～ 7月13日	縄文・古墳
中根八幡前 (第7次)	中根新田字八幡 146-1	確認	個人住宅	17.50	7月25日	縄文・古墳

3. 主な調査の概要

(1) 中野台貝塚 (第5次)

- ① 調査地 野田市中野台字行人谷津912-33
- ② 調査期間 平成30年4月18日～平成30年4月27日
- ③ 調査面積 178.5㎡
- ④ 現 況 宅地
- ⑤ 原 因 宅地造成
- ⑥ 遺 構 縄文時代 竪穴建物跡1
- ⑦ 遺 物 縄文時代土器・石器
- ⑧ 特記事項 堀之内式期とみられる遺構の検出。

(2) 山崎宿里遺跡 (第19次)

- ① 調査地 野田市山崎字下里1110-2他
- ② 調査期間 平成30年6月29日～平成30年7月13日
- ③ 調査面積 360㎡
- ④ 現況 山林・畑地
- ⑤ 原因 分譲住宅
- ⑥ 遺構 古墳時代 竪穴建物跡3
- ⑦ 遺物 縄文土器 (前期)、古墳時代土師器
- ⑧ 特記事項 なし

(3) 中根八幡前遺跡 (第7次)

- ① 調査地 野田市中根新田字八幡146-1
- ② 調査期間 平成30年7月25日
- ③ 調査面積 17.5㎡
- ④ 現況 駐車場
- ⑤ 原因 個人住宅
- ⑥ 遺構 なし
- ⑦ 遺物 なし
- ⑧ 特記事項 市史跡中根八幡前遺跡の東隣接地。
全域にガラス・プラスチック・コンクリ片を含む攪乱がローム層に
まで及んでいたことがわかった。

(旧)

重要文化財 旧花野井家住宅

指定 昭和四十四年六月二十日

流山市前ヶ崎 花野井四郎氏寄贈

昭和四十六年十二月、花野井四郎氏より寄贈されたものである。花野井家住宅は、「前ヶ崎城」のある高台に屋敷をかまえ、城に關係する地侍層の出身と思われるが、近世に入り小金牧で牧士をつとめてきた家柄である。

建物は、桁行間口十五・四五メートル、梁間奥行九・一〇八メートル規模で、平面積四十二・六八平方メートル。向って右に床敷の部屋五室、左手に土間をもち、右を上手として畳敷きの間三室を設けている。建物の中心部に「ひろま」をとり、その奥に細長い「へや」を配置するなど東関東地方古民家の典型となっている。

「ひろま」の前面を格子窓とし全体的に閉鎖性が強く、建築年代は十七世紀を下らないものと推定される。

軸組・主要部の保存もよく当地方を代表する建物として国の重要文化財に指定された。

昭和四十八年九月

野田市教育委員会

(新)

重要文化財 旧花野井家住宅

指定 昭和四十四年六月二十日

流山市前ヶ崎 花野井史郎氏寄贈

旧花野井家住宅は、流山市前ヶ崎に所在していた古民家です。花野井家は、近世には軍馬の育成を目的とした幕府直轄の「小金牧」で牧を管理する牧士を務めた家柄で、目付牧士にも任せられました。中世の城跡「前ヶ崎城」に隣接した高台に屋敷を構えていたことから、元来はこの城に關係した地侍であつたと考えられます。

建物は、昭和四十六年に野田市に寄贈されこの地に移築したものです。桁行五間、梁間四間半の規模をもち、東半に板の間である「ひろま」「へや」、座敷である「おくのま」「なかのま」「しものま」が配され、西半に土間が設けられています。「ひろま」の前面を格子窓とし全体的に閉鎖性が強いことなど古風な手法を残していることから、建築年代は十七世紀後半と推定されます。

千葉県下において保存状態の良い古民家であり、牧士の住宅としても当地方を代表する建物であることから、国の重要文化財に指定されました。

構造形式 木造、寄棟造、葺葺

規 模 桁 行 一五・四五メートル

梁 間 九・一〇八メートル

全 高 七・六〇〇メートル

平面積 一四二・六七八平方メートル

野田市教育委員会

(旧)

薬医門 (江戸時代末期)

野田市吉春 上原正夫氏寄贈

この門はもと上原家の門として使用されていたが、母屋改築にあたり昭和47年10月野田市郷土博物館に寄贈されたものである。

太い「木柱」に対して、若干細い「そえ柱」をもち、前面の軒を深くとるなど、薬医門の形式をよく示している。

この門について、昔から「甚五郎一夜造りの門」といわれ、名工左甚五郎が日光よりの帰途、上原家に泊まり、一夜で作り上げたと言い伝えられている。

(新)

旧上原家住宅薬医門

野田市吉春 上原正夫氏寄贈

この門は上原家の門として使用されていましたが、昭和四十七年に野田市郷土博物館に寄贈され、この地に移築したものです。昔から「甚五郎一夜造りの門」といわれ、名工左甚五郎が日光よりの帰途に上原家に泊まり、一夜で作り上げたと言い伝えられています。

太い「本柱」に対して、若干細い「控え柱」をもち、前面の軒を深くとるなど、薬医門の形式をよく示しています。建築年代は江戸時代末期と推定されます。

構造形式 一間薬医門、木造、切妻造、萱葺

規 模 間 口 二・四三メートル

奥 行 一・四二メートル

軒 高 二・四〇メートル

野田市教育委員会

鈴木貫太郎翁没後70周年記念事業

鈴木貫太郎記念館企画展

企画展示

宰相鈴木貫太郎の終戦時心情

～吉田・マッカーサー往復書簡から～

映像資料

二・二六事件タカ夫人の証言

ギャラリートーク

担当学芸員による常設展及び企画展の解説

会 期：平成30年8月7日（火）～11月4日（日）

開館時間：9時～17時

会 場：鈴木貫太郎記念館

休館日：月曜日（但し、祝日の場合は開館）

入館料：無料

記念講演会

日時：平成30年8月12日（日） 開演10時30分（10時開場）

会場：いちいのホール・小ホール

講師：望月 雅士 氏（早稲田大学教育学部講師）

題名：鈴木貫太郎の信念－『木戸幸一日記』を通して－

定員：120名（申込不要、当日先着順）

手話通訳、磁気誘導ループあり

問合せ 野田市教育委員会 社会教育課 TEL04-7125-1111（代表）

鈴木貫太郎記念館企画展

首相として日本の戦後復興に尽力した吉田茂と、GHQ最高司令官として日本の戦後統治に大きな影響を与えたダグラス・マッカーサー、一度は耳にしたことがある名前だと思います。今回の企画展では、その二人が、新聞に鈴木貫太郎翁が語った内容をめぐりやり取りした書簡を展示し、貫太郎翁の終戦時の心情について紹介します。

映像資料 二・二六事件タカ夫人の証言

二・二六事件の際、鈴木貫太郎侍従長官邸襲撃により、貫太郎翁が凶弾にたおれてから一命をとりとめるまでを目の当たりにしたタカ夫人が、後年語った肉声を基に作成した映像資料を展示します。

ギャラリートーク

記念館の常設展及び企画展について、担当学芸員が解説します。

日程：平成30年8月15日（水）、30日（木）、9月14日（金）、10月16日（火）

時間：10時～11時

場所：鈴木貫太郎記念館

申込：不要、当日記念館ロビー集合

記念講演会

望月雅士氏を講師として招き、鈴木貫太郎内閣で内大臣を務めた木戸幸一が記した『木戸幸一日記』を手掛かりに鈴木貫太郎翁の信念について紹介していただきます。

アクセス

企画展会場 鈴木貫太郎記念館（野田市関宿町1273）

川間駅・東武動物公園駅 朝日バス（境町・境車庫行）「関宿台町」下車

まめバス 北ルート「関宿中央ターミナル」経由 関宿城ルート「関宿台町」下車

※まめバス関宿城ルートは、土・日・祝日は終日運休となります。

記念講演会場 いちいのホール（野田市東宝珠花237-1）

川間駅 朝日バス（関宿中央ターミナル・関宿はやま工業団地・境町・境車庫行）

「いちいのホール入口」下車

まめバス 北ルート「いちいのホール」下車



鈴木貫太郎記念館はこちら↑



いちいのホールはこちら↑